

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F

TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

青森支部8月例会

「次の一手」をどう読むか

～「あおり生プリン」生みの親の経営戦略～

◆講師◆

(株)ナチュールフロビジョン

代表取締役 工藤 真義 氏 (青森支部)

(2024/8/23 参加 22名)



☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

「経営の王道」を歩む工藤社長 その強さの秘密

工藤社長のご講演は、会社を成長・発展させるヒントが満載でした。SWOT 分析、4P 分析等のフレームワークに照らして「経営の王道・正道」を歩まれているだけでなく、現状に安住することなく、PDCA を高速で回し常に改善、進化されています。

成長・発展の最大要因は、工藤社長の経営戦略の『一貫性』だと思いました。中小企業の戦略は、「機会に独自資源(強み)を活かして顧客に価値(感動・喜び)を提供する」ことですが、工藤社長は、経営理念から商品のコンセプトと開発・ブランド構築・販売促進まで「一貫」しています。そして、工藤社長は長年の成功・失敗のご経験から、状況の変化に応じて『一貫性』を絶えず見直されているのです。これは「言うは易く行うは難し」で、経営の理念・哲学が染みついているといえます。

紙幅の制約上、書き切れませんが、工藤社長の外部環境分析も、とても示唆に富んでおり、大変参考・勉強になりました。

記/ 青木 恒 氏



八戸支部8月例会

なぜ海苔屋さんが 米創りを！？

◆報告者◆

(有)丸喜阿保商店 (青森支部)

代表取締役 阿保 貢 氏

(2024/8/28 参加 18名)



☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

海苔業界は、バブル期が最盛期だったが、バブル崩壊し、メインのお客である寿司屋さんが半減、追い打ちをかけるようにコロナ禍による飲食店の倒産などによって、低迷期が来る。その様な状況下、同友会での学びをきっかけに、新社屋、海苔直売店を始めるなど、攻めの経営を展開する。さらに青森県すし業生活衛生同業組合の事務局を任せられ、海苔だけではなく、寿司に一番合う米(黒石産ムツニシキ)の生産を行うようになる。自社製品(海苔)でベースをしっかりと作り、その上で新しいチャレンジ製品(米)のブランディングを見事に成功させ、青森市の飲食業界への貢献に繋がる活動を行っている。

私は、厳しい農業経営状況の中、手探りで進んでいるのが現状である。阿保さんのように同友会での学びなどを通じて、自社の強みを再確認し、ベースをしっかりと作った上で、地域貢献につながる活動を行っていかねばならないと痛感した。今できることをしっかりと行い、農業を次世代に繋ぎ、自分の使命を果たしていく覚悟ができた。

記/ながうし農産加工企業組合 代表理事代理 長牛 友重 氏



上十三支部&青年部会8月合同例会

社長！会社の未来が見えません

～みんなでワクワクする企業をつくる～



◆報告者◆

(株)マルヤマ (上十三支部)

代表取締役 大和 英樹 氏

(2024/8/29 参加 27 名)

★★★ 感想文 ★★★

(株)マルヤマの素晴らしいところは大和社長の社員に対しての実直に向き合う姿勢と努力、その姿に共鳴するように向き合ってくれる社員さんだと感じました。

会社の中期ビジョンに関して社員みんなで考え、全員が一丸となって成功へと向かっていく姿勢は理想的と感じました。その取り組みで会社の方向性が明確になり、全社員に主体性が生まれ、業務効率の向上、組織全体の結束力の向上につながっています。それに付随して社内の意見交換や情報共有が活発になり、異なる視点からのアイデアや解決策が出て組織全体の力を引き出しているように感じました。

自社でも方向性を明確化し、社員が自分の役割と責任を自覚し、組織の目標達成に向けて積極的に行動していける様に取り組んでいきたいと思いました。

記/(有)ダスキン三沢 柿崎 啓一 氏



↑ 7/26 青森支部 7 月ピア例会 参加者 39 名



↑ 7/30 津軽支部 7 月例会



↓ 8/19 リーダー社員研修 参加者 22 名



↓ 9/7 青森&津軽支部 9 月合同例会 参加者 29 名



↑ 7/19 上十三支部 7 月大交流例会 参加者 14 名

第52回青年経営者全国交流会 in 宮崎

集え!変革者

(2024/9/19-20 青森同友会参加 20名)

===== 参加者感想文 =====

➤ (株)三共 代表取締役 秋元 謙也 氏

私は今年から代表取締役となり、同友会津軽支部に参加しています。とにかく出来るだけ会合に出席してきました。約8ヶ月間を過ぎて青全交 in 宮崎に参加しましたが、今までの人生の中で、経験した事がない程の能動的集団のエネルギーに衝撃を受けました。

私は第19分科会「あかいし文庫」特別分科会へ出席したのですが、「経営とは生きざま」「未来の経営者に何を残せるか?」という言葉は自分の願いと悩みの揺らぎの部分に決意を生ませてくれました。

2日目の記念講演では勝てる事業づくりの達成者として日本情報クリエイト(株)米津会長の実践例を数多く報告していただき、ただの参考書や教科書ではない「実学」であろう内容の濃いものでした。若手から熟達者の意識の持たせ方の良い意味の誘導で未来は変えられるのだと思いました。

帰路、虚ろな意識で考え表現できる言葉をつなぎ合わせてみたら「良い経営者になるため、社員を巻き込んで変革する、それが社員を潤し社会を潤していく、その結果として皆が豊かになっていく。まずは行動することが「我が社が生き残れる最後の方法」である」という言葉を自分にメールしていました。

何よりあの場所に約2,000人の「会社を良くしたい、何かを変えたい」と思う人が集まり、顔を見て話を聞き意見を言うというエネルギーの塊の中に自分の身を投げられたことに、感謝いたします。ありがとうございました。



➤ ボディバランスケア amon 代表 小野 美保 氏

気温34℃の宮崎市より熱い経営者 1971人が集った青全交。6月の女全交とはまた違う雰囲気、未来へ飛躍しようとする勢いと熱意が溢れていたように感じました。

全20分科会の内、選んだ第10分科会は、徳島県のガス会社の報告です。オール電化・人口(戸建)減少によるガス機器の販売低下を「ガス会社の当たり前のサービス」に付加価値を付け、売上挽回していく内容

です。家庭の給湯器からお湯が出ない困りごとを「即湯サービス」ですぐお湯を出す事によって、お客様の信用を得ることが出来たそうです。そのサービスを地域へ展開し、次は全国展開して同業と共有しようという発想と熱意に感動しました。弊社の問題やお客様の困りごとにも当てはめると、早く帰って取り組みたいと思う程、熱意が私にも伝わりました。

グループ討論では「自身と社員の火(熱意)のつけ方・お互いの火を燃やし続けるには?」討論130分はあっという間に過ぎ、何物にも変えられない有意義な学びになりました。

記念講演も同友会の学びを活かした経営実践で全国展開しトップシェア企業の米津会長の話も規模の小さい弊社でも内容を当てられ、事業内容の改善や新しい取り組みにも参考になり、2時間、前のめりで聞き入りました。

報告者の30代経営者・講演の経験豊かな経営者・ご縁のあったグループ討論の経営者から学んだのは知識や情報だけではなく「経営者としての資質」まで学ばせていただきました。経営指針を創る会発表会まで残り1カ月のタイミングで参加して本当に良かったと思いました。会社と社員と地域と理念のために贅沢に取り組みた一生忘れられない青全交 in 宮崎でした。



➤ 青森県中小企業家同友会 主任 松田 康太郎

青全交へ全国から約2,000名が集結しました。記念講演の報告の中で「バックキャストिंग」による思考変化を学びました。バックキャストिंगとは、最初に目標とする未来像を描き、実現するための道筋を未来から現在へ遡る手法です。現状を理解して、5年後の姿を描く事で、自分は何をするべきなのかが分かります。経営理念でベクトルを合わせて、「何の為に」、「何を」成し遂げたいのかを共有して、「経営指針書」で社員の主体性を高め、自ら考えて、自ら行動する集団を創る大切さを改めて学びました。また、「自分で考えている以上のことはできないが、それを打破していかなければいけない。自分で考える事が難しいなら同友会だ。」とありました。改めて同友会の大切さや必要性を感じました。これから事務局として、会員や地域から必要とされるような同友会を創って、青森同友会を盛り上げていきたいと思いました。



2024 北海道・東北ブロック 支部長・地区会長交流会 in 秋田

(2024/9/12-13 青森同友会参加 13名)

*** 参加者感想文 ***

➤ (株)三共 代表取締役 秋元 謙也 氏

今回、ブロック交流会に参加させていただきました。1日目の(株)志のぶ高橋社長の報告と、(株)佐藤ファーム社長の報告を拝聴させていただきました。気付いたのが各支部とも同友会の会員定着には、色々悩みがあるということです。今回ブロック交流会には初めて参加したのですが、グループ討論で話し込んでいくと、行きつくところは「人を魅了する環境」とはなんぞや？という事のような気がしてしまいます。国・社会・地域経済・会社・家庭いずれも人と人の掛け合い、心の通わせ方、互助の精神になるのでしょうか、一番の基礎となる部分が構築しにくいというのが「人間」でもあるのでしょうか。本気になればなるほど、データを用いて論理を証明すればするほど、理想とする結果にはなかなか届かないような錯覚を引き起こしてしまいそうな気がしています。

2日目は(株)三栄機械斎藤会長の78年人生の振り返りから始まる報告でしたが、最初の方の「若い頃に、素晴らしい副社長に出会えた！」というパワーワードによって話を傾聴するというより、「社員から見たら、自分はどうかのか？」という問いがずっと頭の中を巡っていました。斎藤会長の今の全ては、「若い頃に～出会えた」ことから気付きがあり今の成り立ちがあると思いますが、今の自分に置き換えると「自分の立ち居振る舞い、企画や決定・発信の在り方、人としての魅力の在り方」などは「さて、どうかのか？」と自分を問いただすことで頭がいっぱいになりました。

今年1月1日社長就任1年目として色んな行事に参加しています。この短期間でこんなに人との出会いを経験したのは初めてですが、立場上やるべき事や進める事柄は明確にあるので、良い刺激を受けて前に進みたいと思いました。「素晴らしい人に出会った！」と言われるように器を広げて磨いていきたいです。



➤ 青森県中小企業家同友会 主任 松田 康太郎

今回は秋田で開催され、110名が集結しました。私は同友会の大切さと、何のために同友会があるのかを改めて学びました。グループ討論では、会員が個々に行える同友会活動の限界や、事務局や会員同士一緒に力を合わせるものの大切さ。その為に事務局は何をするべきかを話し合われました。「同友会で学んだ事を社内で実践する。それなのに、同友会で実践できていないのでは？」という矛盾の話になりました。会社では元気のない社員に声をかけるのは当たり前なのに、同友会では会員に声もかけていない。同友会でも会員同士声を掛け合う事の大切さ、会社と同友会は両輪である事を改めて確認しました。

私は今回参加して事務局として、会員が何に困っているか、どんな同友会のコンテンツで解決できるのかを考えていきます。その為に支部役員と会員情報を共有して、会員が同友会を「自分事」に捉えてもらえるように、ドキドキワクワクする同友会づくりを一緒に行いたいと思いました。



8月理事会報告 於:事務局 2024.8.6(火)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2024年度重点活動方針
- 青森同友会3カ年ビジョン(2023～2025)

2)報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について

①各支部の動き

②全県の動き

③全国行事の動き(2024年度)

- 経営指針を創る会について
- 3ヶ月先行管理の進捗状況について
- 第23回障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

3)審議・確認事項

- 第23回経営研究集会について
 - 2024年度会勢目標について
 - 各支部、委員会からの報告
- 会員数 412名 / 入会 2社 退会 3社

9月理事会報告 於:事務局 2024.9.3(火)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2024年度重点活動方針
- 青森同友会3カ年ビジョン(2023～2025)

2)報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について

①各支部の動き

②全県の動き

③全国行事の動き(2024年度)

- 経営指針を創る会について
- 3ヶ月先行管理の進捗状況について
- 第23回障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

3)審議・確認事項

- 第23回経営研究集会について
 - 2024年度会勢目標について
 - 各支部、委員会からの報告
- 会員数 411名 / 入会 1社 退会 2社

【次回開催日】2024年10月2日(水) 13:30～/事務局